

パプア・ニューギニア
森林研究計画フェーズ
終了時評価報告書

平成12年3月

国際協力事業団
森林・自然環境協力部

自然森
J R
00 - 014

序 文

国際協力事業団は、パプア・ニューギニア政府からの技術協力の要請を受け、平成7年4月1日から5年間にわたり、森林研究計画フェーズを実施してきました。

当事業団は、本計画の協力実績の把握や協力効果の測定を行うとともに、今後両国がとるべき措置を両国政府に勧告することを目的として、平成11年11月6日から11月19日まで、森林総合研究所企画調整部海外森林資源保全研究チーム長 藤井智之氏を団長とする評価調査団を現地に派遣しました。調査団はパプア・ニューギニア政府関係者と共同で本計画の評価を行うとともに、プロジェクトサイトでの現地調査を実施し、成果の確認を行いました。そして帰国後の国内作業を経て、調査結果を本報告書に取りまとめました。

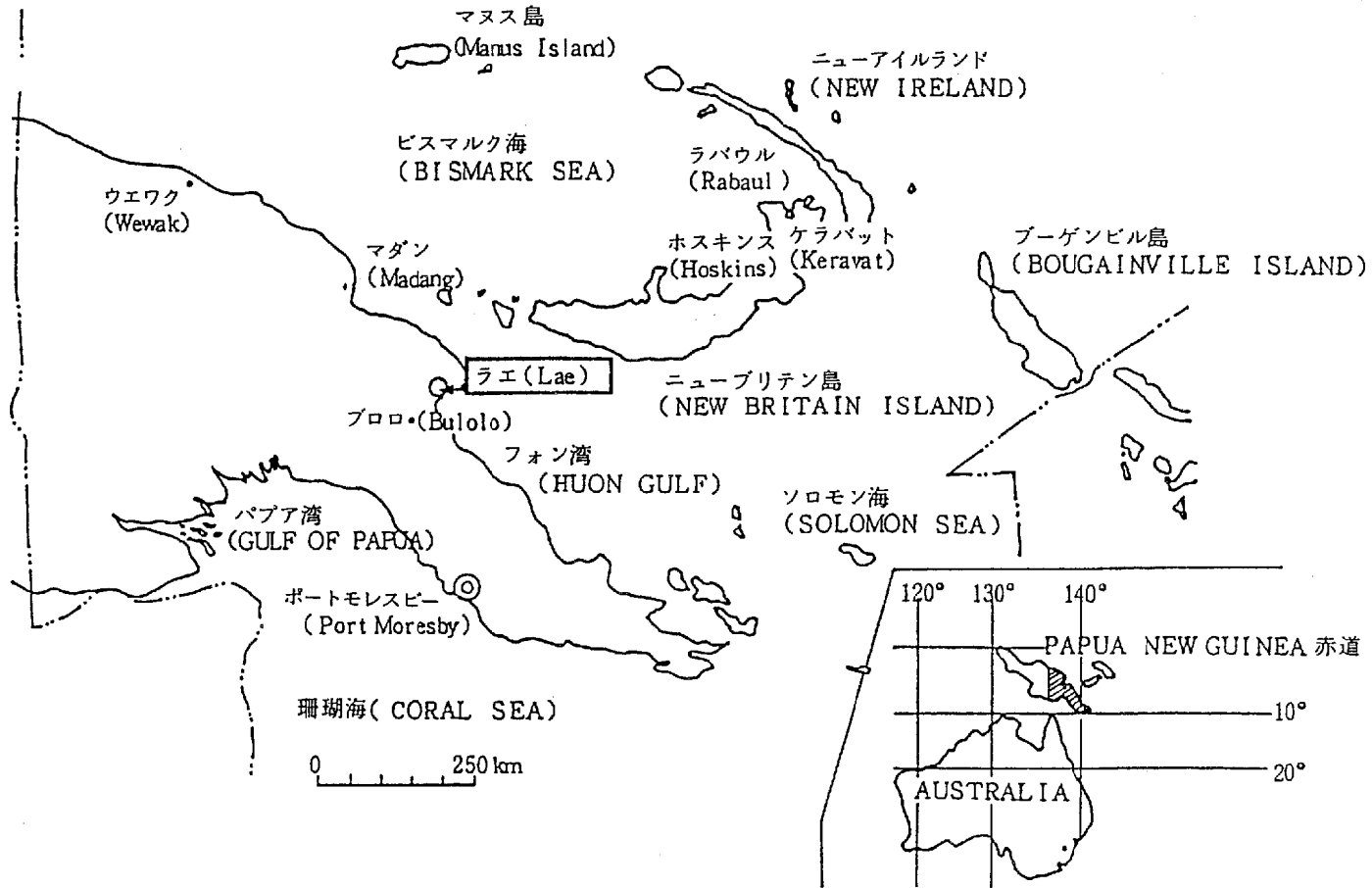
この報告書が今後の協力のさらなる発展のための指針となるとともに、本計画により達成された成果が同国の発展に資することを期待いたします。

終わりに、プロジェクトの実施にご協力とご支援をくださった両国の関係者の皆様に、心から感謝の意を表します。

平成12年3月

国際協力事業団
理事 後 藤 洋

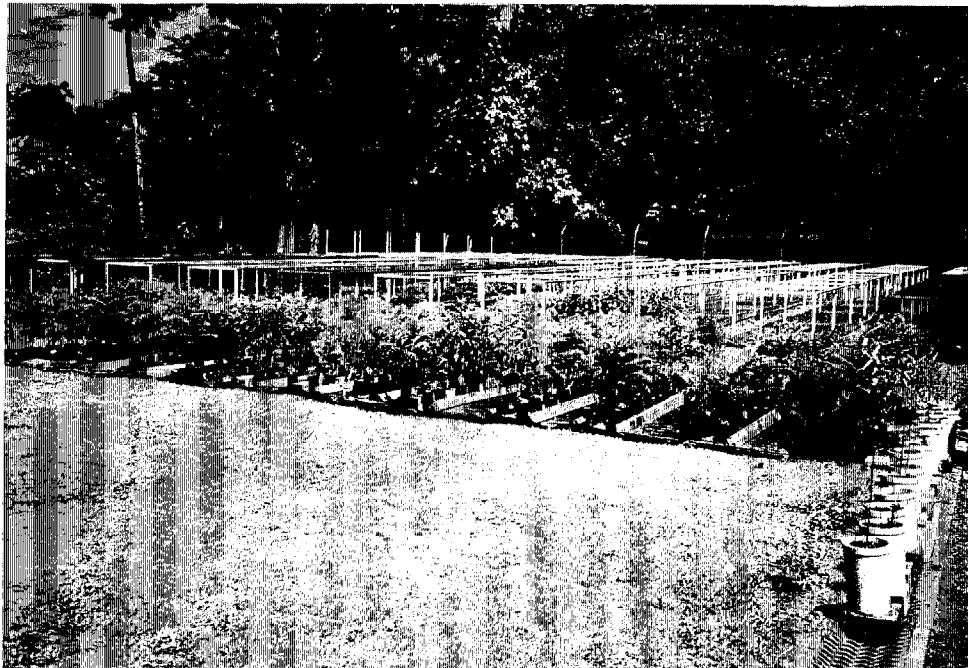
パプア・ニューギニア概要図
(PAPUA NEW GUINEA)



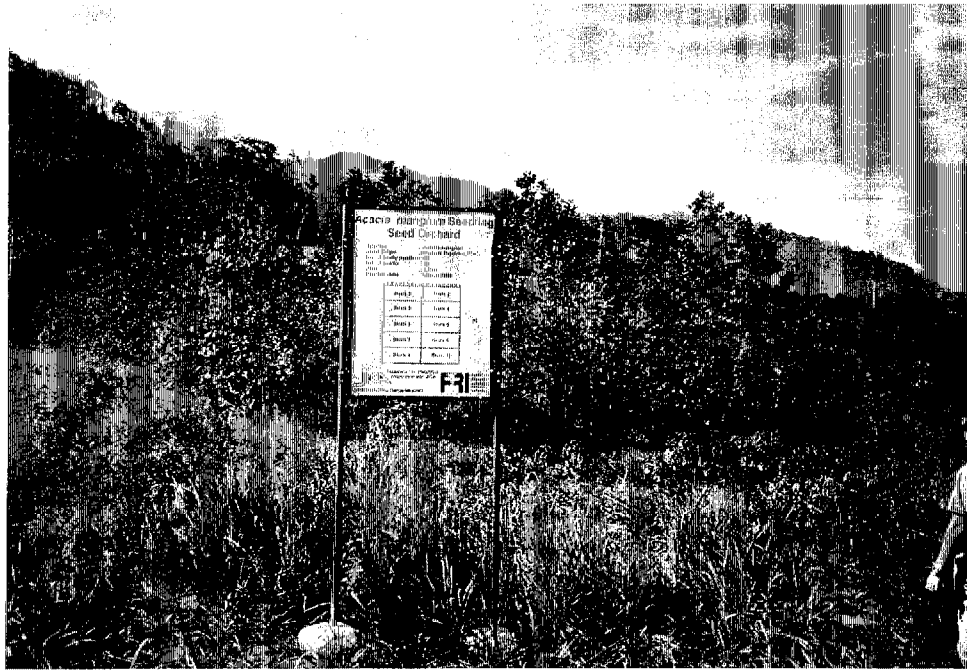
ソロモン海・サンノ位置図



▲ 森林研究所 (FRI)



▲ FRI内苗畑



▲ Mare採種園 (Acacia mangium)



▲ Finschhafen試験林入口の看板



▲ Finschhafen試験林内の様子(1)



▲ Finschhafen試験林内の様子(2)



▲ FRIの木材標本庫

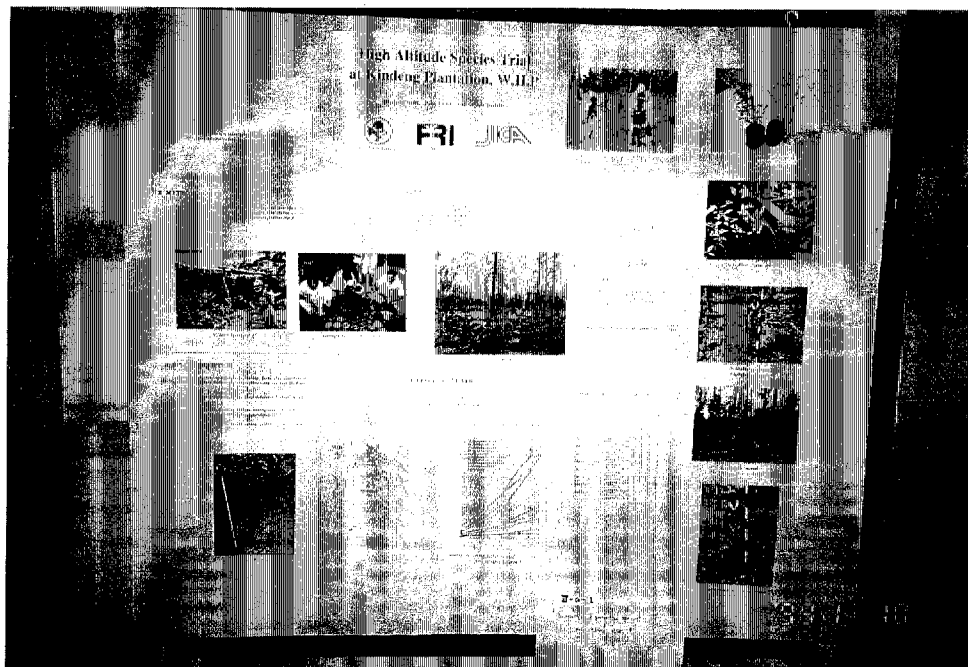


▲ プロジェクト関係者に対するPCM評価手法の説明

研究成果報告会 ▶



研究成果報告会ポスター発表 ▶



協議議事録 (M/M) 署名 ▶



目 次

序文

プロジェクト・サイト位置図

写真

第1章 調査団派遣概要.....	1
1 - 1 調査の目的.....	1
1 - 2 調査団業務内容.....	1
1 - 3 団員構成.....	1
1 - 4 調査日程.....	2
1 - 5 主な面談者.....	2
第2章 プロジェクト全体評価.....	4
2 - 1 評価計画.....	4
2 - 2 調査結果.....	5
2 - 3 考察.....	5
2 - 4 結論.....	9
第3章 課題別評価.....	11
3 - 1 天然林の持続的経営.....	11
3 - 2 人工造林.....	14
3 - 3 森林生物分野.....	18
第4章 総括.....	26
4 - 1 結論.....	26
4 - 2 提言.....	26
4 - 3 フォローアップ協力の概要.....	27
資料	
1 協議議事録（M / M）.....	31
2 終了時評価表.....	46
3 プロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）.....	122